

第2期
宗像市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

令和2年4月

宗像市

はじめに

本市では、平成27年度を始期とする「第2次宗像市総合計画」(以下「総合計画という。))で描いた将来像「ときを紡ぎ躍動するまち」に向け、協働の理念を基本として着実に歩みを進めているところです。

平成29年7月には、これまで市民や関係団体と連携、協力しながら取組みを進めてきた「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産に登録されたことにより、本市を取り巻く環境は大きく変化し、今後も世界遺産のあるまち、として貴重な資産や良好な景観を守りつなげていくことが求められています。

その一方で、我が国の総人口は、平成20年をピークに減少局面に入り、年間出生数も減少が続いており、我が国における人口減少と少子高齢化は深刻な状況にあることから、国では地方創生の取組みをより一層強化し、地方創生の動きを加速させています。

本市においても、この動きは例外でなく、「宗像市人口ビジョン」(以下「人口ビジョン」という。))でも示しているように、今後の人口は減少することが見込まれ、地域の活力低下、さらに地域経済への悪影響が懸念される状況です。

そのため、本市においても第1期(平成27年度から令和元年度)の総合戦略の取組みを総括、検証するとともに、第1期で根付いた地方創生の力を継続することを基本とし、国の地方創生の取組みを踏まえた、4つの政策分野と2つの横断的視点を定めた第2期総合戦略の策定に取り組んできました。

第2期総合戦略は、第1期総合戦略同様、本市における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを踏まえて、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢に的確に対応し、将来にわたって住みよい環境を確保して、活力ある宗像市を維持するために、中期的な施策の方向性と具体的な取組みをまとめたものです。

本市の総合戦略の推進に当たっては、これまでの協働の理念を引き継ぎ、市民だけでなく、市内外の事業者などとの連携をさらに強化し、宗像ならではのまち・ひと・しごとの創生に取り組んでまいります。



～宗像市はSDGs(持続可能な開発目標)の推進に取り組めます。～

目 次

第1 基本的事項

1 総合戦略の計画期間	1
2 第2次宗像市総合計画と総合戦略の関係	1
3 総合戦略の推進に当たっての基本方針	1
(1) まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則	1
(2) PDCAサイクルによる進捗管理	2
(3) 財政状況等の勘案	2
(4) 情報発信	2

第2 具体的な施策と取組み

1 第2期総合戦略における政策分野	3
2 横断的視点	3
3 総合戦略の政策分野と関連する総合計画の施策	4

【分野1】地域の「稼ぐ力」強化

施策 農業の活性化	6
施策 水産業の活性化	7
施策 観光業の活性化	7
施策 雇用の場の確保	8

【分野2】多様なつながりを契機とした、宗像へのひとの流れづくり

施策 交流人口の創出	11
施策 関係人口の創出	12
施策 地域資源を活かした移住・定住施策の推進	13

【分野3】出産・子育て・教育環境づくり

施策 安心して産み、育てられる環境づくり	15
施策 宗像ならではの教育の推進	16

【分野4】まちづくりと安心なくらしの提供

施策 宗像版集約型都市構造の形成	19
施策 地域での安心な暮らしの確保	20
施策 魅力ある地域づくりとそれを支えるひとづくり	21

参考資料

第1期総合戦略の総括	
------------	--

第1 基本的事項

1 総合戦略の計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

2 第2次宗像市総合計画と総合戦略の関係

本市では、平成27年3月に、平成27年度を始期（終期、令和6年度末）とする総合計画を策定し、さらに令和2年度を始期とする総合計画後期基本計画を策定しました。

総合戦略の目的が、人口減少問題への対応や地域経済縮小の克服であることに對し、総合計画は、本市の総合的な振興や発展などを目的としています。

また、総合計画の策定に当たっては、計19回開催した市民ワークショップ、小学生から市内外の居住者まで幅広く実施した6種のアンケート調査、有識者や市民代表30人で丁寧にご議論いただいた「総合計画審議会」など、広く関係者の意見を反映させる手法を積極的に採用しました。これは、広く関係者の意見を反映させるという、国が示す総合戦略の策定の考え方と合致するものであると言えます。

したがって、本市の総合戦略は、総合計画の中から人口減少問題への対応や地域経済縮小の克服に関するものを抜粋し、さらに、実行性の高い戦略とするために、市民や行政とともにまちづくりを担う民間企業等との協働・連携を念頭に、策定しました。

このように総合戦略と総合計画は、その目的や含まれる施策の範囲は必ずしも同じではありませんが、いずれもSDGsの理念を取り入れることにより、幅広い視点から将来を見据えた持続可能なまちづくりを行うこととしております。よって、本市においてはSDGsの推進と地方創生の実現のために両者を一体的に推進していきます。

3 総合戦略の推進に当たっての基本方針

(1) まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

総合戦略による人口減少問題への対応と地域経済縮小の克服を着実に実現するため、本市の取組みについても国の総合戦略に定められた「政策5原則（自立性、将来性、地域性、総合性、結果重視）」の趣旨を踏まえて、施策を展開することとします。

※「参考」 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」政策5原則

自立性	地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。
将来性	施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。
地域性	地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。
総合性	施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。
結果重視	施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。

(2) PDCAサイクルによる進捗管理

総合戦略は、単年限りの取組みではなく、今後5年間の中期的な取組みを定めたものです。

5年間の取組みを通じて、より高い効果を発揮していくため、PDCAサイクルによる事業の進捗管理を行います。

進捗管理に当たっては、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点から、具体的な効果を示す数値目標の設定、毎年度の客観的な効果検証、取組内容の見直しを実施し、継続的な改善を推進します。

- ・ Plan : 客観的な指標である重要業績評価指標（KPI）を設定した総合戦略を策定
- ・ Do : 総合戦略に基づく具体的な取組みを実施
- ・ Check : 重要業績評価指標（KPI）を通じて、取組みの効果の客観的な検証を実施
- ・ Action : 検証を通じて取組内容を見直すとともに、必要に応じて総合戦略を改訂

また、効果の検証においては、客観性を担保するため、市民アンケート等で市民意見を集約するとともに、外部有識者等の意見を反映させ、改善の推進に努めます。

(3) 財政状況等の勘案

総合戦略の推進に当たっては、効果の高い施策を優先的に実施していくこととしていますが、将来に過度な負担を残さないために、優先順位の判断に加え、市の財政状況や国からの交付金の状況などを総合的に勘案する必要があります。

優先度合いと財源の視点から、取組みの最適な実施時期を判断し調整するなど、計画期間内に着実に成果を上げるための進行管理に努めます。

また、効果が向上しない取組みの廃止や、当初想定した効果が見込めない取組みの廃止など、財政状況等を勘案した柔軟な判断により、真に必要な施策への集中的な投資を行っていきます。

(4) 情報発信

本市では、総合計画に掲げるように、本市が有する魅力ある資源を広く発信、共有していくことで、選ばれるまちを目指しています。

世界遺産登録によって、本市の認知度は向上しました。これを契機に地方創生の好循環へとつなげていけるよう、宗像ならではの資源を生かした観光、祭りやイベントなど交流人口、関係人口の増加や将来的な移住、定住につなげていくため、世代や趣向に応じたタイムリーで戦略的な情報発信に取り組んでいきます。

第2 具体的な施策と取組み

1 第2期総合戦略における政策分野

第2期総合戦略の作成に当たっては、国の地方創生の取組みや第1期総合戦略の総括を踏まえ、4つの政策分野と2つの横断的視点を設定します。

分野1：地域の稼ぐ力強化

地域の「稼ぐ力」を支え、地域経済の活性化と雇用の創出を行います。
市外から所得を獲得している産業や、集積が図られている産業の強みをさらに高めることに加え、企業誘致や創業支援による新たな稼ぐ力の掘り起こしを行います。

分野2：多様なつながりを契機とした、宗像へのひとのながれづくり

新しいひとの流れから、宗像ファンづくりの拡大へつなげます。
世界遺産登録を契機に多くの観光客が訪れる本市にとって、ひとの流れを本市の成長へつなげていくことが必要です。そのため、より深い関わりを創出するための取組みに加え、戦略的な移住、定住対策に取り組めます。

分野3：出産・子育て・教育環境づくり

子育て世代の出産・子育ての希望をかなえます。
結婚に向けた出会いの場の支援から出産、子育て、学校教育の充実など、子育て、教育環境づくりのさらなる充実を図ります。

分野4：まちづくりと安心な暮らしの提供

誰もが暮らしやすいまちを目指し、地域の特性を活かした地域づくり、地域づくりを支えるひとづくり、ひとびとの安心な暮らしを守るまちづくりを進めます。

2 横断的視点

横断的視点は、政策分野1から4の全ての取組みを行ううえで、常に意識しなければならないことや積極的に取り組むべき目標として設定するものです。

1：多様な人材の活躍を推進する

多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めるとともに、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる取組みを推進していきます。

2：新しい時代の流れを力にする

Society5.0の実現に向けた未来技術の活用を推進するとともに、総合計画にも掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を原動力に総合戦略を推進していきます。

3 総合戦略の政策分野と関連する総合計画の施策

総合戦略では、先に述べた4つの政策分野と政策分野ごとの基本目標などを設定し、基本目標の達成に向けた施策を展開していきます。

なお、総合戦略と一体的に推進することとしている総合計画との関連は次のとおりです。

【総合戦略と関連する総合計画の施策】

総合戦略の政策分野	関連する総合計画の主な施策
【分野1】 地域の「稼ぐ力」強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した生活の支援 ・ 観光による地域の活性化 ・ 地域産業の活性化 ・ 資源を活かした島の活性化 ・ 女性の活躍推進による地域社会の活性化
【分野2】 多様なつながりを契機とした、宗像へのひとのながれづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光による地域の活性化 ・ 資源を生かした島の活性化 ・ スポーツの多面活用 ・ 世界遺産と歴史文化の保存と活用 ・ 住宅施策の推進 ・ 計画的かつ効率的な行政経営
【分野3】 出産・子育て・教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの健やかな成長 ・ 子育て環境の充実 ・ 教育活動の充実 ・ 教育環境の充実 ・ グローバル人材の育成と国際交流の推進
【分野4】 まちづくりと安心な暮らしの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりの推進 ・ 生涯を通じた学習の振興 ・ 防災対策の強化 ・ 調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成 ・ 公共交通の利便性の向上 ・ 都市再生の推進 ・ 住宅施策の推進 ・ 地域の特徴を活かしたコミュニティ活動の推進 ・ 市民活動の推進 ・ 連携によるまちの経営

【分野1】地域の稼ぐ力強化

(1) 基本目標

地域の「稼ぐ力」を支え、地域経済の活性化と雇用の創出を行う

(2) 数値目標

指 標	基準値	目標値
市内事業所従業者数	24,448人	維持
市内総生産	2,109億円	2,250億円

(3) 基本的方向

○農、水産物の高付加価値化の推進に取り組みます。

農地の集積、漁場整備など農業、水産業の経営基盤を強化し、ブランド化や6次産業化による高付加価値化の推進に取り組みます。

○企業誘致、創業支援に取り組みます。

民間企業による投資を誘導する企業誘致に取り組むことで、新たな雇用の場の確保につなげます。また、「宗像で創業(宗業(そうぎょう))」できるまちを目指し、創業希望者に対する、切れ目のない支援に取り組みます。

○観光を核に市外から稼ぐ力の拡大に取り組みます。

地域全体で稼ぐ仕組みを構築するため、事業者と連携したプレミアム付商品券の電子化の検討などに取り組むことで、市外からの稼ぐ力強化に取り組みます。

(4) 具体的な施策と取組み

【施策】 農業の活性化

長引く農産物価格の低迷などによる所得水準の伸び悩み、農業就業者の減少と高齢化の進行に対応するため、新規就農者の確保、育成、農地集積等による経営規模の拡大に加え、新たな技術を活用した農業に取り組みます。

また、農産物の高付加価値化により戦略的な販路拡大に取り組みます。

農業の基盤強化

主な内容		
○スマート農業など新技術を活用した農業の研究 ○農地集積の推進		
○高性能農業機械などの導入支援 ○有害鳥獣駆除活動の推進		
○農作業ヘルパーの拡充 ○新規就農者の確保、育成		
○ため池の保全管理		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
農地集積割合	34.7%	50%
新規就農者	—	10経営体

農産物の高付加価値化の推進

主な内容		
○規格外農産物の活用		
○農産加工品開発・製造・販売の支援		
○農産物のブランド化推進		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
農業者の売上高	23億円	25億円

【施策】 水産業の活性化

魚価の低迷、燃油の高騰に加え、漁獲量の減少などによる所得水準の伸び悩み、漁業従事者の高齢化などによる担い手不足に対応するため、新規就漁者の確保、育成、漁場、藻場の再生に向けた取り組みを行います。

また、新たに整備する荷捌き所の活用や水産物の高付加価値化により戦略的な販路拡大に取り組むことにより、漁業所得の向上を目指します。

水産業の基盤強化

主な内容		
○新荷捌き所の整備及び活用	○藻場再生事業	
○漁場整備事業	○稚魚、稚貝等の放流	
○新規就漁者の確保、育成		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
新荷捌き所で水揚げされた魚の魚価	264円/kg	275円/kg
宗像漁協の漁獲高	5,232t	5,500t

水産物の高付加価値化の推進

主な内容		
○6次産業化の推進	○国内外への販路の開拓	
○加工による水産物の高付加価値化	○地産地消の推進	
○ブランド化の推進	○規格外水産物等の活用	
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
宗像漁協の売上高 (活魚センター)	1.8億円	2.0億円
ブランド化に取り組む鐘崎天然とらふくの価格 (フェア取引価格)	7,022円/kg	7,300円/kg
宗像漁協組合員の漁業所得	2,800千円	3,006千円

【施策】 観光業の活性化

稼ぐ視点で本市の観光資源を磨きあげるため、事業所等における新たな観光メニューの開発支援や大規模な会議等の誘致に取り組めます。

稼ぐ観光事業の推進

主な内容		
○コト消費 (体験メニュー) の開発、整理	○MICEの誘致	
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
観光による市内消費額	4,528円/人	5,000円/人
コト消費 (体験メニュー) 提供数	—	50件

【施策】 雇用の場の確保

市内での新たな雇用の場の確保のため、企業誘致に取り組むとともに、「宗像で創業（“宗業”）」するひとを戦略的に支援します。

地域経済の活性化に向け、プレミアム付商品券の電子化の検討や中小事業者が行う新規事業への取り組みの支援を実施します。また、女性の活躍推進を強力的に支援するなど、誰もが地域経済を活性化する担い手として、活躍できるよう取り組みます。

企業誘致に向けた適地調査と立地促進事業の充実

主な内容		
○新たな産業用地の確保 ○企業立地誘導策の検討と誘致活動の推進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
新たな企業の立地件数	—	3社以上

地域に賑わいと活力をもたらす「創業支援」の充実

主な内容		
○”宗業”者応援ネットワーク及び民間創業支援施設による創業支援 ○宗像ビジネス交流会実施による情報収集・事業者交流の場づくり		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
創業支援者数	—	150人
創業者数	—	80人

中小事業者の新たな「チャレンジ」への支援

主な内容		
○キャッシュレス推進事業の検討 ○中小事業者が行う新規事業への取組支援 ○プレミアム付商品券の電子化 ○担い手確保支援の検討		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
国補助金（ものづくり、小規模持続化）の採択件数	—	180件
市補助金（がんばる中小事業者補助金）の採択件数	—	150件

女性への就労支援の充実

主な内容		
○資格取得講座、スキルアップ講座の実施 ○創業支援、キャリアアップ支援講座の実施 ○テレワークなどの多様な働き方への支援 ○個々の事情にあった多様なワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発、支援 ○創業支援施設等と連携した事業の実施		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
女性就業者数	策定中	策定中

高齢者への就労支援の充実

主な内容		
○シルバー人材センターにおける就業機会の創出と拡大 ○就業者への技術指導、安全指導		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
シルバー人材センターの登録者数	624人	700人
シルバー人材センターの売上高	3.5億円	4億円

【分野2】多様なつながりを契機とした、宗像へのひとのながれづくり

(1) 基本目標

新しいひとの流れから、宗像ファンづくりの拡大へ

(2) 数値目標

指 標	基準値	目標値
総人口 ※人口ビジョンにおける将来展望人口の達成	97,066人	97,156人

(3) 基本的方向

○本市が有する多様な資源を活用し、新しいひとの流れを創出します。

歴史、自然、文化、芸術、スポーツ等、本市が有する多様な資源を活かし、観光を中心とした新たなひとの流れづくり（交流人口の拡大）に戦略的に取り組みます。

○共感人口の拡大に取り組みます。

各種事業などをおして、本市と関わる人々を増やし、その人々の力を本市の成長につなげていきます。

○若い世代の定住化に向けた取組みを推進します。

移住希望者に対して相談から移住までの、包括的な支援を行うなど、本市へのU I Jターンによるひとの流れを創出します。また、国の支援制度を活用した東京圏からの移住促進に取り組みます。

(4) 具体的な施策と取組み

【施策】 交流人口の創出

歴史、食、自然、スポーツ、お祭りなどの資源を生かし、新たなひとの流れを創出するとともに、観光によるひとの流れを消費につなげるため観光 DMO の組成に対する支援に取り組みます。

また、道の駅むなかたや街道の駅赤馬館周辺への店舗誘導や市内回遊性を向上させる仕組みの構築に取り組み、さらに他自治体の観光資源との広域連携等を行っていきます。

宗像版観光 DMO の推進による観光の推進

主な内容		
○国の DMO 登録に向けた支援 ○インバウンド、若年層への情報発信強化、受入体制強化 ○宿泊税などを活用した観光事業の実施 ○二次交通の充実、新技術の活用に向けた調査・検討		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
観光入込客数	5, 134千人	5, 500千人

スポーツ観光の推進

主な内容		
○スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致 ○スポーツコミッション機能の確立		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
スポーツ観光による本市来訪者	428, 679人	430, 000人
スポーツ観光による本市宿泊者	115, 541人	120, 000人

世界遺産公開活用の推進

主な内容		
○世界遺産ガイダンス施設を拠点とし、本質的価値の理解促進に寄与する情報を多様な媒体を活用して発信 ○観光事業と連携した構成資産及び周辺地域への来訪促進 ○世界遺産ガイダンス施設でのボランティアガイドなど、世界遺産の保存活用に携わる人材の育成		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
世界遺産関連施設（海の道むなかた館）来館者数	181, 996人	190, 000人
ボランティアガイド数	106	120人

国道 495 号沿線の店舗誘導の推進

主な内容		
○北部沿道商業地等新規出店補助事業の実施		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
新規出店者数 (国道 495 号沿線)	—	5 店舗

広域観光の推進

主な内容		
○他自治体と連携し、広域で観光 PR、イベント等を実施		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
観光 PR・イベント等への参加者数	500 人	1,000 人

【施策】 関係人口の創出

本市、各地域、市内事業者などが行う事業に共感し、これまでの観光による交流を超えた、イベントの担い手や寄附等、新たな関係をもつ人を増やす取組みを推進します。

宗像ファンづくりの推進

主な内容		
○デジタルプロモーション、ターゲットに合わせた情報発信の充実		
○環境保全活動の拡充		
○ワーケーション、二地域居住、副業、兼業希望者に対する情報発信		
○クラウドファンディングを活用した事業の検討、実施		
○ふるさと寄附、企業版ふるさと納税の PR		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
企業版ふるさと納税寄附事業者数	—	10 社

【施策】地域資源を活かした移住・定住施策の推進

移住・定住施策のエリアとターゲットを整理したうえで、若い世代の定住や多世代での同居の希望などに対応するため、民間事業者と連携した住宅開発の誘導や定住を促進する制度の検討を行います。

また、文化、教育、子育て環境の充実等の宗像市の魅力を定住の要素のひとつとして高付加価値化し市外に発信するとともに、離島体験や田舎暮らし体験等の機会を提供することで、移住の促進を図っていきます。

若い世代の定住化の推進

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○定住 PR 事業の実施 ○子育て家族向け交流事業の実施 ○住宅取得等補助制度による定住施策 ○住宅開発等の誘導 ○民間開発の戦略的な誘導 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
生産年齢人口 (15-64 歳人口) ※人口ビジョンにおける将来展望人口の達成	55,106人	53,203人

移住促進に向けた取組み

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○国の交付金を活用した東京圏からの移住の推進 ○二地域居住、副業、兼業希望者に対する情報発信 ○地域おこし協力隊の活動支援 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
東京圏からの移住促進事業による移住者数	—	10世帯

【分野3】 出産・子育て・教育環境づくり

(1) 基本目標

子育て世代の出産・子育ての希望をかなえる

(2) 数値目標

指 標	基準値	目標値
年少人口（0—14歳人口） ※人口ビジョンにおける将来展望人口の達成	13,592人	13,651人
安心して子育てができると感じる市民の割合 （市民アンケート）	78%	85%

(3) 基本的方向

○結婚に向けた出会いを希望するひとを支援します。

むなかた出会いサポートセンターをとおして、出会いを希望するひと同士のマッチングや結婚に向けた意識の醸成などの支援に取り組みます。

○子育て世代が、安心して出産・子育てできる環境づくりを推進します。

保育、幼児教育が安定して提供できる体制を整えるため、保育士の確保に向けた取組みや小学校、義務教育学校との連携による、切れ目のない支援に取り組みます。また、多子世帯に対する支援により、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

○教育文化都市としての魅力を高め、学校教育のさらなる充実を図ります。

義務教育段階で求められる資質や能力などを確実に身に付けられるよう、効果的な学習指導、教育活動の充実を図ります。併せて、本市の特色であるグローバル人材の育成に引き続き取り組みます。

(4) 具体的な施策と取組み

【施策1】 安心して産み、育てられる環境づくり

結婚を希望するひとに対して出会いの場の支援を行います。

子育て世代が安心して出産、子育てができるよう、各種相談・支援体制の充実を図るとともに、保育、幼児教育が安定して提供できるよう、保育士の確保に取り組みます。

また、家庭、地域、保育所、幼稚園が連携した総合的な幼児教育を推進し、小学校教育への円滑な接続に向けた保幼認小義連携を強化していきます。

出会い創出支援事業の推進

主な内容		
○出会いサポートセンターの運営 ○多様な出会いの場の提供 ○出会いから結婚へつなげるための支援		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
出会いサポートセンター会員の成婚組数	4組	20組

保幼小連携による幼児教育の推進

主な内容		
○保幼認小義の情報連携 ○保幼認と小学校の交流による接続期の推進 ○研修等により幼児教育・保育従事者の質の向上		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
保幼小連携事業による参加者満足度	—	90%

保育士確保策の推進

主な内容		
○保育士など確保に向けたPR事業の実施 ○家賃補助制度など保育士確保策の実施		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
保育所の待機児童者数	—	0人

多子世帯支援の充実

主な内容		
○県、民間企業などと連携した多子世帯応援サービスの実施 ○経済的な負担軽減策の検討、実施		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
きょうだい児の入所者数	—	150人

【施策2】 宗像ならではの教育の推進

個に応じた指導の充実や“「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群”などの歴史資源を活かしたふるさと学習、国際的な視野を持ち活躍できるグローバル人材の育成など、宗像ならではの特色ある教育を推進していきます。また、これまでの小中一貫教育の取組みを基盤とし、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組みます。

学力向上の推進

主な内容		
○学力向上支援教員の活用 ○福岡教育大学との連携事業の実施 ○学校支援ボランティアの活用 ○ICT環境の整備、機器の活用 ○研修等による教職員の指導力の向上		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
授業が「わかった」「できた」と思うことがある児童生徒の割合	91.59%	95.00%
全国学力・学習状況調査における標準化得点	104.8点	105.0点

外国語教育の充実

主な内容		
○ALT（外国語指導助手）の活用 ○スピーチコンテストの実施 ○外国語教育担当者研修会の実施		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
英語を使って会話をしたいと思う児童生徒の割合	66.83%	70.00%
IBAテスト結果が「3級レベル」以上	50.19%	50.00%

個に応じた指導の充実

主な内容		
○特別支援教育アドバイザーによる指導・支援 ○特別支援教育支援員の活用 ○タブレットを活用した授業づくり		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
個別の指導計画の作成率	100%	100%
個別の教育支援計画への合理的配慮の記入率	100%	100%

宗像版小中一貫コミュニティ・スクールの推進

主な内容		
○小中一貫教育の充実 ○学園コーディネーターの配置 ○学園運営協議会の設置		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
兼務教員、小学校一部教科担任制を実施する学校数	8校	21校
学園運営協議会の設置学園数	2学園	7学園

多文化交流によるグローバル人材の育成

主な内容		
○宗像国際育成プログラムの実施 ○学生海外派遣研修の実施 ○外国人団体などとの交流事業の実施 ○ホームステイ・ホームビジットなどの実施		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
事業参加者アンケートで多文化理解に関する項目の肯定回答数	—	80%
市民アンケートによる施策の満足度	3.0	3.2

【分野4】まちづくりと安心な暮らしの提供

(1) 基本目標

地域特性を活かした地域づくり、地域づくりを支えるひとづくり、安心な暮らしを守るまちづくりを進める

(2) 数値目標

指 標	基準値	目標値
宗像市は暮らしやすいと思う市民の割合 (市民アンケート)	82%	90%

(3) 基本的方向

○人口減少と超高齢社会の進展を踏まえ、市民らが安心して日々の生活を送るため、まちの環境を整備し、コンパクトで中身の充実した良質で暮らしやすい都市づくりを推進します。

○市民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。

市がさらに選ばれる都市となるためには、安心して生活ができる環境が整っていることが必要です。災害などに備えた防災や地域と連携した防犯活動に取り組みます。

○誰もが輝き活躍できるまちづくりを推進します。

魅力あるまちづくりを支えるひとづくりに取り組むとともに、多様な人材の活躍を支援できる地域づくりに取り組みます。

(4) 具体的な施策と取組み

【施策】 宗像版集約型都市構造の形成

日々の暮らしに必要な生活や公共交通のサービス水準の維持・向上を図るため、都市の再生と宗像版集約型都市構造の形成に向けた取組みを推進する。

既存団地の再生と活性化

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○公共空間の活用による賑わいの創出 ○エリアマネジメント推進体制の構築 ○子育て支援、高齢者支援サービス機能の充実 ○住み替えの促進 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
日の里地区の戸建て住宅の空き家の減少	172件	120件
自由ヶ丘地区の戸建て住宅の空き家の減少	221件	154件

まちなか居住の推進

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○都市機能誘導施設の集積 ○賑わいのある中心拠点の形成 ○まちなか再生整備支援 ○職住近接の促進 ○歩いて暮らせるまちづくりの形成 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
中心拠点における低未利用地の面積	測定中	5%減

住宅建設の誘導

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○居住誘導区域への住宅建設の誘導 ○民間活力の誘導などによる住宅用地の創出 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
居住誘導区域における人口密度	51.8人/ha	50.9人/ha

空き家・空き地の利活用

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○空き家・空き地バンクの利活用促進 ○不動産流通促進のための啓発 ○自治会と連携した空き家調査 ○中古自由宅購入などに対する支援 ○新築住宅建築のための古家解体に対する支援 		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
空き家・空き地バンク取引成立件数		176件
中古住宅購入補助及び古家購入建替補助の申請件数	107件	550件

地域公共交通の再構築

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者ニーズの把握と効果的な運行体制の検討、実施 ○新技術を活用した交通手段導入の検討 		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
新技術を活用した交通手段の利用者数	—	増加

【施策2】 地域での安心な暮らしの確保

災害などによる市民への影響を最小限にとどめるため、防災に対する啓発に取り組みます。また、安心して生活ができるまちづくりを目指すため、地域等と連携した防犯活動に取り組みます。

地域防災活動への支援

主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報伝達システムの登録啓発活動の実施 ○防災訓練の企画運営等の活動支援 ○防災マップの配布 ○地区の避難所情報の啓発 		
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
緊急情報伝達システムの登録者数	5,574件	6,000件
自主防災組織訓練等への支援活動回数	41回	50回
居住地区の避難場所を知っている住民の割合	79%	85%

防犯活動の支援

主な内容		
○地域住民による「ながら防犯」等の活動支援 ○空き家空き地の流通支援		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
刑法犯認知件数	398件	350件

【施策3】 魅力ある地域づくりとそれを支えるひとづくり

歴史、観光、文化、芸術など、本市が有する様々な資源を活かした魅力ある地域づくりを進めます。また、それを支える地域の人材が健康で長く活躍できる健康づくりや人材発掘等の仕組みづくりを推進します。

市の魅力となる文化芸術の創出

主な内容		
○文化芸術活動の場の充実 ○文化芸術に触れ、親しむ機会の充実		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
文化芸術イベントにおける市民の参画者数	540人	550人
すくすくコンサート参加者数	910人	900人

地域の人材の発掘と活躍の仕組みづくり

主な内容		
○市民学習ネットワーク事業の推進		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
有志指導者数	145人	150人

地域創造ビジネスへの支援

主な内容		
○地域住民等が主体となって行う地域課題の解決等を目的として行う取組の支援		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
地域創造ビジネス取組継続件数	6件	10件

地域住民主体の健康づくり支援

主な内容		
○地域や個人の健康づくり・運動活動の支援 ○特定健診受診勧奨の実施 ○生活習慣病予防の普及啓発		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
運動習慣者の割合 20～64 歳男性 (1 回 30 分以上・週 2 回以上の運動を 1 年 以上継続している人)	20.3%	38.0%
運動習慣者の割合 20～64 歳女性 (1 回 30 分以上・週 2 回以上の運動を 1 年 以上継続している人)	14.6%	27.0%
特定健診受診率	36.2%	60.0%
特定保健指導実施率	63.9%	65.0%

地域資源の保全と継承

主な内容		
○環境保全活動の拡充 ○宗像国際環境 100 人会議の開催支援		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
宗像国際環境 100 人会議協賛企業数	22 社	30 社

1 第1期総合戦略の総括

第1期総合戦略で定めた政策分野ごとの数値目標の進捗状況とその要因については、次のとおりです。

【分野1：地域経済対策・しごとづくり】

指 標	目 標 値	実 績 値
市内事業所従業者数	23,200人	24,448人
市内総生産	2,250億円	2,109億円

(要因・分析)

市内事業所従業者数は、目標値を1,248人上回っています。

本市の従業者数の約23%を占める「卸売り、小売業」が、景気の回復傾向により堅調に推移したことに加え、介護事業等に代表される「医療、福祉」の従業者数が大幅に増加したことが影響したものと考えられます。

また、世界遺産登録に関連すると思われる「宿泊業、飲食サービス業」の従業者数が着実に増加したことも影響したと考えられます。

一方で、市内総生産額は、目標値を141億円下回る結果となりましたが、市内総生産額は、年々増加傾向にあることから、今後も総合戦略に基づく取組みを、着実に実施していく必要があります。

【分野2：宗像へのひとの流れづくり】

指 標	目 標 値	実 績 値
総人口	96,483人	97,066人

(要因・分析)

総人口は、目標値を583人上回っています。

子育て世代をターゲットにした定住化推進施策により、近隣市で大規模な住宅開発が行われるなかでも、子育て世代の転入超過が維持できたことやそれに伴うと考えられる、出生率の向上などが大きな要因と考えられます。

なお、総人口は、地方創生の取組みの根幹でもあることから、今後も戦略的な取組みを継続していく必要があります。

【分野3：出産・子育て・教育環境づくり】

指 標	目標値	実績値
年少人口（0歳～14歳人口）	12,897人	13,592人
安心して子育てができると感じる市民の割合（市民アンケート）	60%	78%

（要因・分析）

年少人口は、目標値を695人上回っています。

総人口の達成要因にもなった、子育て世代をターゲットにした定住化推進施策により、子育て世代の流入が続いたことが大きな要因と考えます。

また、安心して子育てができると感じる市民の割合についても、目標値を18%上回る結果となりました。

子育てに関する相談体制の充実や出産、子育てに対して切れ目のない、総合的な支援を行ってきたことが、特に子育て世代の満足度を向上させた大きな要因と考えることから今後も総合戦略の取組みを継続していく必要があります。

【分野4：まちづくりと安心な暮らしの確保】

指 標	目標値	実績値
人口集中地区内の1haあたりの人口	57.7人	59.2人
宗像市は暮らしやすいと思う市民の割合（市民アンケート）	90%	82%

（要因・分析）

人口集中地区内の1haあたりの人口は、目標値を1.5人上回っています。

総人口が目標値を上回ったことに加え、中心商業地等の活性化事業によって、JR赤間駅及び東郷駅前に目標を大きく上回る新規出店があったことも人口集中地区内の人口を押し上げた要因と考えます。

一方で、宗像市は暮らしやすいと思う市民の割合（市民アンケート）は、目標値を8%下回っています。

総合戦略の取組みはもとより、本市が行う事業全般の底上げが必要です。